



人をつなぐ。
未来をつなぐ。

東アジア文化都市北九州 2020▶21 実施計画（改訂版）

2021年3月

東アジア文化都市2020北九州実行委員会

文化芸術には人の心を豊かにし、まちを元気にする力があります。人々の創造力を喚起し、地域課題の解決の糸口や可能性を生き生きと示します。本市では文化芸術の力を観光や産業にも活かす創造的なまちづくりを進めており、その振興はSDGsの推進に寄与するものです。

今、我々は新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るう未曾有の事態に直面しています。感染症の影響により、社会や人々の関係が分断を余儀なくされている昨今の状況は、多くの人々の心に影を落としています。

2021年、本市が「東アジア文化都市北九州2020▶21」に取り組むことで、多くの方に文化芸術に触れていただき、人とのつながりを感じ取ってもらうことには大きな意義があると考えています。

コロナ禍における新たな文化交流や国際交流など、東アジア文化都市に選定された本市だからこそ取り組める様々な文化事業を通して、人々に生きる勇気と感動を与えるとともに、本市の「文化の灯」を絶やすことなく未来につないでいきます。

東アジア文化都市2020北九州実行委員会
会長 北橋健治

東アジア文化都市とは

「東アジア文化都市」は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指します。

また、東アジア文化都市に選定された都市がその文化的特徴を生かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としています。

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
日本	横浜市	新潟市	奈良市	京都市	金沢市	豊島区		
中国	泉州市	青島市	寧波市	長沙市	ハルビン市	西安市	揚州市	紹興市 敦煌市
韓国	光州 広域市	清州市	済州特別 自治道	大邱 広域市	釜山 広域市	仁川 広域市	順天市	

中国・韓国 開催都市紹介

東アジア文化都市は日本・中国・韓国からそれぞれ開催都市が決定され、文化交流事業を実施していきます。中国・韓国の開催都市をご紹介します。

<2021 年開催都市>

紹興(ショウコウ)市【中国】 人口：448万人 面積：8,327 km²

紹興市は浙江省の中北部、杭州湾の南岸に位置し、春秋時代に越国の都が置かれたこともある江南地方の著名な古都で、中国で最初に認定された歴史文化都市のひとつでもあります。

◆文豪魯迅の生誕地「名士の郷」

近代文学の文豪 魯迅の生誕地であり、旧居や魯迅が学んだ私塾「三味茶屋」のほか、魯迅の作品に登場した咸亨酒店、塔子橋、土谷祠、長慶寺など、当時の様子をそのまま現在に伝えています。魯迅のほかにも数々の名士を輩出し、「名士の郷」と称されています。

◆紹興酒の産地

2500年前から作られている中国を代表するお酒「紹興酒」が有名です。紹興酒は黄酒や老酒ともいわれ、浙江省紹興市の鑑湖の湧水を使って、製造後3年以上の貯蔵熟成期間を経て製品化した黄酒のことをいいます。同様の製法で作られた黄酒や老酒であっても、紹興市で作られたもの以外は紹興酒と呼ぶことはできません。

敦煌(トンコウ)市【中国】 人口：20万人 面積：31,200 km²

敦煌市は中国北西部甘肅省に属し、かつてシルクロードの分岐点としてヨーロッパへ繋がる唯一の道として栄えました。世界遺産に登録された莫高窟のほか、張掖丹霞地貌(ちょうえきたんかちぼう)といった、自然豊かな見どころを有する都市です。

◆世界遺産「莫高窟」

鳴沙山東麓の絶壁上にある莫高窟は「千仏洞」とも呼ばれる仏像の石窟で、前秦(366年頃)から、千年にわたって掘り続けられ、現在では大小492の石窟に彩色塑像と壁画が保存される仏教芸術の聖地です。

◆広大な自然保護区

敦煌市は国家級自然保護区を2つ、省級地質遺跡自然保護区を1つ有しており、その大きさは7,880 km²で全市の面積の25%にもものぼっています。

<2020年開催都市>

揚州 (ヨウシュウ) 市【中国】 人口：460万人 面積：6,634 km²

揚州市は江蘇省中部、長江と京杭大運河（けいこうだいうんが）が交わるところに位置します。6000年の文明の歴史と、2500年以上の城塞建設の歴史があり、その歴史的価値の高さを評価され、中国国務院から国内で最初に国家歴史文化名城に指定されたほか、国連ハビタット（国際連合人間居住計画）都市、優秀観光都市でもあります。

<2020・21年開催都市>

順天 (スンチョン) 市【韓国】 人口：28万人 面積：910 km²

順天市は、大韓民国の南端の全羅南道東部圏に位置する人口28万人の都市です。文化や観光、教育など様々な分野で高く評価されている都市です。

◆「文化都市」順天

ユネスコ世界文化遺産の仙岩寺（ソナムサ）やユネスコ世界文化遺産暫定リストに登録されている樂安邑城（ナガンウプソン）、松廣寺（ソングァンサ）などの歴史・文化資源だけでなく、様々な種類の文化財を保有する都市です。また、順天湾国際交響楽祭、順天湾世界動物映画祭といった国際文化行事や公演など、街じゅうに文化芸術が花開く都市です。

◆「エコロジー都市」順天

順天市は、ラムサール条約湿地都市に認定されました。また大韓民国第1号国家庭園に指定された順天湾国家庭園や2020年のユネスコ世界自然遺産登録を控えている順天湾湿地があります。市全域が生物圏保存地域に登録され、平和と幸運を象徴するナベヅル1000羽以上が飛来し、国内外において名実共にエコロジー都市の地位を確立している都市です。

開催都市位置図



開催趣旨

「創造都市・北九州」へ ～東アジアの響きあう交流を未来へ～

文化芸術の持つ創造性を、地域振興や観光・産業振興等に領域横断的に活用し、地域課題の解決に取り組む都市を「創造都市」と呼び、この試みは現在、世界中の多くの都市で、地域との連携のもとに進められています。本市においても、文化振興計画の中で、文化芸術を地域経済、教育、福祉などに生かし、創造的なまちづくりを進めることを謳っています。

北九州市は、歴史的・地理的にアジアの玄関口として発展し、多くの文化人を輩出する他、多様な文化施設の充実や、先進的な文化芸術に取り組むなど、豊富な文化土壌を有しています。また、公害克服の経験等を生かし、アジア諸都市と国際技術協力や都市間交流を積み重ね、行政はもとより市民の草の根交流を育んできました。

「東アジア文化都市北九州2020▶21」では、本市を舞台に、東アジアをはじめとする、市民、産業界、多様なアーティストが集い、それぞれの創造性を最大限に引き出しながら交流・協働・融合することで、東アジア域内の相互理解をさらに深めるとともに、新たな価値を生み出し進化させ、平和的発展に貢献することを目指します。同時に、本事業を推進力として「創造都市・北九州」の実現を図っていきます。

事業目標

「参加」による創造都市の実現

芸産学官 + 市民のオール北九州で取り組み、
文化芸術を通じて市民のシビックプライドを醸成します。

「交流」による創造都市の実現

多様な交流を通じて東アジアとの相互理解や新たな価値を生み、
アートの力による文化観光を振興します。

「発信」による創造都市の実現

北九州発の文化芸術を国内外に効果的に発信し国内および国際的な評価を獲得します。

東アジア文化都市北九州 2020▶2 I

5つの宣言=DESIGN宣言!

(事業目標の達成に向けて、重点的に取り組む事業の基本方針)

文化芸術を生かしてまちづくりを行う「創造都市・北九州」の実現に向け、東アジア文化都市北九州 2020▶2 I に取組みます。事業の目的の達成に向けて、重点的に取り組む事業の基本方針「5つの宣言=DESIGN宣言」を定めています。

- **D**ISCOVER 宣言 (ディスカバー：発見)
可能性を秘めた北九州の新たな文化芸術を見つけ出す
- **E**DUCATION 宣言 (エデュケーション：教育)
東アジアの文化芸術を学びあい、次世代へつなぐ
- **S**YMPHONY 宣言 (シンフォニー：調和)
東アジアの多様な人々と、文化芸術を通して響きあう
- **I**NNOVATION 宣言 (イノベーション：革新)
芸産学官が手を携え、文化芸術による新たな産業を生み出す
- **G**LOBAL 宣言 (グローバル：世界的)
東アジアの文化芸術を国内外に発信し、インバウンドを呼び込む



総合プロデューサー・ディレクター メッセージ

【総合プロデューサー】

柴田 英杞 / (独)日本芸術文化振興会プログラムディレクター、(公社)全国公立文化施設協会アドバイザー、北九州市顧問



北九州市は、多様性に富んだたくさんの文化資源・地域資源があり、ポテンシャルの高いまちです。この「東アジア文化都市」の事業を市民の皆様と共に推進し、市の魅力を国内外に発信したいと考えています。

コンセプトは「未来と対話」。草の根の文化芸術交流を通じて、今よりも将来に目を向けて、対話を継続していく重要性を説いています。

また、コロナ禍の今、文化芸術がもたらす感動や癒しが再認識されています。文化芸術があらゆる人々を元気にし、まちを活気づかせ、そのことが社会全体の幸せにつながります。「文化芸術に触れて、北九州市に暮らしてよかった」といった感覚を市民が共有・共感できるプロジェクトにしたいと考えています。

【部門別ディレクター】

藤間 蘭黄／日本舞踊家



撮影：篠山紀信

交流式典の文化交流公演では、古代から近現代に至る門司を題材に、和布刈神事、源平合戦や江戸時代の風景から近世の港の繁栄まで、唄と踊りで綴ります。文化芸術には国境がなく、言葉の壁も容易に乗り越えることができます。特に東アジアにおいては、その共通性を顕著に見ることが出来ます。2021年は、伝統芸能が持つ面白さ・素晴らしさを、再認識していただく年にしたいと思っております。

南條 史生／キュレーター



世界の人々が未来に向かって共有する重要な指標となる SDGs。このイベントでは、自然やテクノロジーを用いた多様なアートを通して SDGs を表現し、SDGs の先進都市である北九州市の皆さんと持続可能な社会の実現に向けて、世界にメッセージを発信したいと考えています。北九州から日本、そして世界の未来を拓きましょう。

田中 時彦／北九州市漫画ミュージアム館長、童画家、漫画家



北九州市のパワーの源は、先人から培われてきたモノづくりの知恵と魂で、これらが人を育み街を造ってきました。日本有数の工業の街に、今や映画や漫画アニメ、ポップカルチャー等といった多様性に富んだ北九州市ならではのメディア芸術が形成され、新しい息吹が芽生えています。東アジア文化都市はこうした独創的文化的魅力を体感していただく、またとない機会です。是非北九州市の新たなパワーを感じてほしいと思います。

今川 英子／北九州市立文学館長



北九州市は、古くから人・もの・情報が集まり交差する街、さらに工業の街として、その活力が地熱となって様々な文化と人を育ててきました。文学とは人間世界の謎解きです。根っこに共通項を持つ東アジアの文芸文化の交流は、言葉の壁を越えて市民の一人ひとりが心で繋がり、未来へ向けての大きな希望となることでしょう。

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、事業内容や開催日時等に変更が生じる可能性があります。

開催記念事業

東アジア文化都市北九州 2020▶21 開催記念「小倉城 地酒まつり(仮称)」

- ・開催時期：2021 年 6 月 予定
- ・会場：小倉城下 大手門前広場・しろテラス横（予定）
- ・概要：北九州のシンボル小倉城の城下にて、日本・中国・韓国の地酒やグルメの販売に加え、PR ブースを開設し、家族や仲間と楽しめるイベントを開催します。

交流式典

開催時期：2021 年 6 月 6 日(日) 14:00～

会場：北九州芸術劇場 大ホール

テーマ：「未来」と「対話」 - Future & Dialog -

《プログラム》

●オープニング公演 独唱

出演：大西ゆか（ソプラノ歌手）、永野栄子（ピアニスト）

●文化交流公演

【日本・北九州市】

タイトル：「門司春秋(もじしゅんじゅう)」

「春秋」とは年月、歳月のこと。関門海峡周辺の地域資源及び門司港地区を題材に、作詞・作曲されたオリジナル楽曲（唄、三味線、囃子）で踊られる日本舞踊。舞台美術に小倉織を使用。

作・演出・振付：藤間蘭黄

作曲：杵屋小三郎〈坂口あまね〉

（長唄囃子青年楽団清響会、東京藝術大学音楽学部邦楽科4年生）

出演：藤間蘭黄（日本舞踊家）、山村友五郎（上方舞・日本舞踊家）、

長唄囃子青年楽団清響会

舞台美術素材監修：築城則子（遊生染織工房主宰）

【中国及び韓国 開催都市】

各都市から派遣される文化使節団 による文化交流公演

コア事業（伝統芸能）

トップクラスのアーティストによる日中韓の伝統楽器の演奏や長唄・日本舞踊の上演など、伝統芸能を楽しめるステージを開催するとともに、海外からの訪問客を日本文化でお迎えする体験型プログラム等を実施します。

▶伝統芸能饗宴（仮称）

- ・開催時期：2021年8月29日（日）午後
- ・会場：北九州芸術劇場 大ホール
- ・監修：藤間蘭黄（日本舞踊）、八代目杵屋勝三郎（長唄・囃子）
 - I：プロローグ饗宴①～日中韓の伝統楽器（日本・箏、中国・古箏、韓国・カヤグム）による新曲の演奏～
作曲：佐野秀典 演奏：宮本直美、姜小青、金オル
 - II：プロ及び市民参加者等による長唄三味線演奏
演目①「元禄花見踊」 演奏：市民参加者 他
演目②「船弁慶」
演奏：【唄】杵屋東成・杵屋利光 他、【三味線】杵屋勝禄・杵屋禄宣・杵屋小三郎 他、【囃子】堅田新十郎社中
 - III：市民参加者等による新曲の創作日本舞踊
題材：鳥獣戯画 EMAKI(新作)
作詞：藤間蘭黄 作曲：杵屋小三郎
出演：市民参加者 他
演奏：演目II②の演奏者
 - IV：エピローグ饗宴②～フィナーレ～

▶日本文化体験ウェルカムプログラム

- ・開催時期：2021年 秋頃
- ・会場：小倉城、小倉城庭園 等
- ・開催内容：オリンピック・パラリンピック、世界体操・新体操選手権の開催に伴い来訪されるお客様等に向けた、日本文化を体験できるプログラム（茶道や華道、和装体験など）を実施します。

▶小倉城 薪能 2021

- ・開催時期：2021年 秋頃
- ・会場：小倉城天守閣前広場（予定）
- ・開催内容：小倉城を背景に舞台周辺にかがり火を焚き、幻想的な雰囲気の中で日本古来の伝統芸能である能を披露します。

▶東アジア文化都市北九州 2020▶21開催記念「第76期本因坊戦 第4局」

- ・開催時期：2021年6月10日（木）～11日（金）
- ・会場：アートホテル小倉ニュータガワ（予定）
- ・開催内容：囲碁界最高峰のタイトル戦である「本因坊戦」を8年ぶりに本市で開催します。

2020年実施済事業

▶小倉城 薪能 2020

- ・開催時期：2020年10月3日（土） 16:00～19:30
- ・会場：小倉城天守閣前広場
- ・開催内容：（第一部）子供・留学生等による能楽のステージ
（第二部）狂言「昆布売」、能「黒塚」

コア事業 (ART for SDGs)

世界の環境首都を目指す北九州市において、SDGs をテーマにした芸術祭を開催します。

▶北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs

- ・開催時期 : 2021年4月29日(木・祝)~5月9日(日)(予定)
※一部会場は会期延長
北九州市立いのちのたび博物館:5月30日(日)まで
北九州市立美術館(本館):7月11日(日)まで
- ・会場 : 東田大通り公園、北九州市立いのちのたび博物館、東田第一高炉跡、北九州イノベーションギャラリー、北九州市環境ミュージアム、北九州市立美術館(本館)ほか
- ・開催内容 : SDGs(=SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)とは、国連サミットで採択された世界の開発目標です。本芸術祭では、アートを通して、SDGsの目標を可視化し、さらにポストコロナ時代の新しい生き方のヴィジョンを世界に向け発信します。具体的には、廃材を使ったアート、自然や医療につながるアート、多様性社会を表現するアート、最先端のテクノロジーを用いたアートなど、さまざまな作品を招致して、これまでにない独自の芸術祭を構成します。また、市民やSDGs推進を目指す企業等が、作品の制作段階から参画できる仕掛けづくりにも取り組みます。



(担当ディレクター)
南條 史生

(参加アーティスト)
石井リーサ明里
奥中 章人
落合 陽一
片山 真理
団塚 栄喜
淀川テクニック
和田 永 ほか

コア事業（メディア芸術）

本市は「北九州市漫画ミュージアム」や「北九州ポップカルチャーフェスティバル」等を中心に、漫画・アニメの魅力を幅広い世代に発信しています。

また、「映画の街」として、先駆的に取り組んできた北九州フィルム・コミッションの実績もあります。本市の強みを活かしながら、様々なイベントを開催します。

▶北九州ポップカルチャーフェスティバル 2021

- ・開催時期：2021年11月27日（土）～28日（日）
- ・会場：西日本総合展示場 等
- ・開催内容：若者層に人気の高い漫画やアニメなど「ポップカルチャー」をテーマとした九州最大級のイベント。人気声優やクリエイターのトークショー、アニソンライブ、ブース展示等、多彩なコンテンツでイベントを盛り上げます。

▶第6回北九州国際漫画大賞

- ・開催時期：2021年6月～12月（予定）
- ・会場：北九州市漫画ミュージアム
- ・開催内容：漫画の魅力・ポテンシャルを北九州市から国内外に向けて広く発信し、漫画文化の普及を図るため、4コマ漫画の国際コンテストを開催します。ジュニア部門から一般部門まで広く作品を募集し、受賞・優秀作品を決定します。これらの作品は漫画ミュージアム公式HPや企画展（北九州国際漫画祭 2021）にて展示予定です。

▶2021日中韓新人MANGA選手権

- ・開催時期：2021年9月（予定）
- ・開催内容：日中韓の新人漫画家の活動を支援するとともに、漫画文化の普及・振興を図るため、国際的な漫画選手権大会を開催します（オンラインでの開催予定）。各国から選抜された20名程度の新人漫画家が、与えられたテーマに基づいた創作漫画を描くなど、数日間にわたり腕を競い合います。本選手権の様態と作品の一部を漫画ミュージアムの企画展（北九州国際漫画祭 2021）などで展示予定です。

▶北九州フィルム・コミッション 国際映画祭（仮称）

- ・開催時期：2021年11月（予定）
- ・会場：市内映画館 等
- ・開催内容：北九州フィルム・コミッションの実績を市民の皆様と分かち合い、世界に向けても映画の街を発信する映画祭を開催します。映画ファンだけでなく、市民の皆様が共に楽しんでいただける映画の祭典を目指します。

コア事業（文学）

本市が持つ豊かな文芸土壌を活かして、文学による東アジアとの交流を図るとともに、他の芸術分野と連携した事業を展開します。

▶東アジア文学会議（仮称）

- ・開催時期：2021 年秋
- ・会場：北九州国際会議場
- ・開催内容：日中韓の文学者が集うシンポジウムや講演、朗読劇等を開催するとともに、文学を通じた国際交流を図ります。
- ・テーマ：地球を聴く～持続可能性と文学ができること～

▶アートシネマ（仮称）

- ・開催時期：2021 年秋
- ・会場：小倉昭和館、長崎街道木屋瀬宿記念館ほか
- ・開催内容：本市ゆかりの作家の小説を原作とする映画や本市出身の俳優が出演する映画の上映会を開催します。
読んでから観るか、観てから読むか、市民の皆様が文学や映画を楽しみ、本市ゆかりの作家を身近に感じていただく機会を創出します。

▶書と文芸（仮称）

- ・開催時期：2021 年 8 月 27 日（金）～9 月 12 日（日）
- ・会場：北九州市立美術館分館
- ・開催内容：東アジアに共通する「漢字」をテーマに、日中韓の書家等による展覧会を開催します。

2020 年実施済事業

▶詩、踊る

- ・開催時期：2020 年 11 月 7 日（土）
- ・会場：北九州芸術劇場 中劇場
- ・開催内容：本市にゆかりのある詩人の作品をモチーフとしたダンス（身体表現）作品を創作し上演しました。分野を越えた多様な文化芸術の相互理解を図るとともに、本市の文芸・舞台芸術を市内外に発信しました。

▶街なかリーディング

- ・開催時期：2020 年 11 月 3 日（火）
- ・会場：門司赤煉瓦プレイス 赤煉瓦交流館
- ・開催内容：劇団前進座が松本清張の代表作の一つである『点と線』の朗読劇を行いました。